

1 法人の概要

代表者職氏名	理事長 沓沢 了介	所管部課名	農林水産部森林整備課
所在地	秋田市川元山下町8-28	設立年月日	平成4年7月28日
電話番号	018-864-0161	ホームページ	http://www.maroon.dti.ne.jp/akirinro/index.html
主な出資(出捐)者	出資(出捐)者名	出資(出捐)額(千円)	出資(出捐)比率(%)
	秋田県	620,000	68.7%
	22市町村	175,001	19.4%
	86団体その他	108,057	25.3%
	合計	903,058	100.0%
設立目的	秋田県内において林業労働に従事する者の就労条件を改善し、林業従事者の安定的確保を図るとともに、若年林業従事者の育成及び確保を促進させることにより、林業の安定的発展に寄与することを目的とする。		
事業概要	①林業従事者の確保、育成に関する事業 ②林業従事者の就労条件の改善に関する事業 ③林業従事者の林業労働に係る安全と衛生の確保に関する事業 ④森林管理の重要性の普及及び啓発に関する事業 ⑤林業労働力の確保の促進に関する法律第12条各号に掲げる事業 ⑥その他この法人の目的を達成するために必要な事業		
事業に関連する法令、県計画	林業労働力の確保の促進に関する法律、秋田県林業労働力の確保の促進に関する基本計画		

2 H26年度事業実績(前年度評価を踏まえた取組内容を含む。)

- ①若年層を中心とした新規の就業から、将来基幹となる優秀な林業技能者の育成及び定着まで総合的な支援をした。
- ②林業の労働条件を改善し、林業従事者が安心して就労できる職場環境づくりを支援した。
- ③雇用管理体制の充実を促進するため、情報の収集提供、求職者や事業主に対して相談指導、研修会を実施した。

<事業目標>

項目	区分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
林業労働力の確保・育成の充実(人・事業体数) ※H27年度追加目標	目標				1,735
	実績				-
就労条件の改善(人) ※H27年度追加目標	目標				1,153
	実績				-
助成対象者等の拡充(人・事業体数)	目標	1,597	1,695	1,648	
	実績	1,338	1,410	1,449	
相談指導業務等の充実(数)	目標	220	220	220	290
	実績	263	206	286	-

3 組織

①役員数(H27.7.1現在)

(単位:人)

区分	理事		監事		評議員		役員報酬
	H26	H27	H26	H27	H26	H27	
常勤	1	1					支給対象者 (H26年度) 2人 平均年齢 63歳 平均報酬年額 (H26年度) 30千円
内、県退職者	1	1					
内、県職員							
非常勤	4	4	2	2	5	5	
内、県退職者	1	1	1	1			
内、県職員							
計	5	5	2	2	5	5	
内、県関係者	2	2	1	1			

②職員数(H27.4.1現在)

(単位:人)

区分	H26	H27	正職員
正職員	2	2	
内、県退職者	1	1	
出向職員			平均勤続年数 10年
内、県職員			
臨時・嘱託	1	1	平均年収 (H26年度) 3,970千円
内、県退職者			
計	3	3	
内、県関係者	1	1	

③理事会回数

平成25年度	4	平成26年度	3
--------	---	--------	---

4 財務

①正味財産増減計算書

(単位:千円)

区分	平成25年度	平成26年度
経常収益	99,725	103,305
基本財産・特定資産運用益	14,765	17,094
受取会費・受取寄附金		
受託事業収益	6,136	6,211
自主事業収益		
受取補助金・受取負担金	78,824	80,000
その他の収益		
経常費用	100,887	105,579
事業費	84,409	88,728
管理費	16,478	16,851
人件費(事業費分含む)	15,628	15,867
当期経常増減額	△1,162	△2,274
経常外収益		1,922
経常外費用		
当期経常外増減額		1,922
当期一般正味財産増減額	△1,162	△352
当期指定正味財産増減額	1,034	805
当期正味財産増減額合計	△128	453

②貸借対照表

(単位:千円)

区分	平成25年度	平成26年度
流動資産	16,470	16,200
固定資産	1,010,050	1,011,010
資産計	1,026,520	1,027,210
流動負債	1,395	1,478
短期借入金		
固定負債	3,860	4,014
長期借入金		
負債計	5,255	5,492
指定正味財産	908,226	909,031
うち基本財産充当額	908,226	909,031
一般正味財産	113,039	112,687
うち基本財産充当額		
正味財産計	1,021,265	1,021,718
負債・正味財産計	1,026,520	1,027,210

(単位:千円)

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率(%)
	4,014	4,014	100.0%

<主な経営指標>

項目	算式	平成25年度	平成26年度	H25-26増減
経常収支比率	経常収益÷経常費用×100	98.8%	97.8%	△1.0%
流動比率	流動資産÷流動負債×100	1180.6%	1096.1%	△84.6%
自己資本比率	正味財産計÷負債・正味財産計×100	99.5%	99.5%	△0.0%
有利子負債比率	有利子負債÷正味財産計×100			

5 県の財政的関与の状況

(単位:千円)

区分	平成25年度	平成26年度	支出目的・対象事業概要等
年間支出			
補助金	78,824	80,000	若年林業従事者に専門的知識・技能を習得させるための経費
委託費	1,091		林業に従事する者の就労条件や労働環境の改善を図るための経費
指定管理料			需要開拓に必要な知識習得の研修及び経営診断に関する経費

年度末残高	貸付金		
	損失補償		
	その他の財政支出(基金等)		

I 自己評価

1 公共的役割	2 組織体制	3 事業実施	4 財務状況
A 秋田県等関係機関と連携を図り、県内全域の林業事業体へ指導育成等を実施した。	A 常勤役員及びプロパー職員が在籍し、法人運営は適切に滞りなく執行された。	B 林業従事者の就労条件改善について、継続して指導を実施し、助成対象者の拡充を図りたい。	A 概ね予算内の費用にて事業が実施された他、予算に無かった経常外収益が発生したため、単年度損益が黒字になった。

II 所管課評価

1 公共的役割	2 組織体制	3 事業実施	4 財務状況
A 林業労働に従事する者の就労条件の改善に向けた取組を実施している。	A 常勤役員及びプロパー職員が、法人の運営を適切に実施している。	B 林業従事者の就労条件の改善、安定確保、若年林業従事者の育成及び確保に関する事業を滞りなく実施している。	A 県補助金による事業を主に行っており、財務基盤は安定している。

III 外部専門家のコメント

・H26年度は基本財産である投資有価証券の償還前売却及び再投資を行っている。再投資による利回りの悪化はなく、さらに投資有価証券の売却益も発生し、補助金の増加とあわせて経常収益は前期比増となり、収支均衡を達成した。

・ただし、助成金支出の増加等、経常費用も掛かり増ししており、上記売却益を除いた実力ベースの経常収支は△2,274千円と実質連続赤字。

・剰余金である一般正味財産残高はH27年3月末で112,687千円と経常増減額に比して十分であり、財務基盤は安定している。

IV 委員会評価

1 公共的役割	2 組織体制	3 事業実施	4 財務状況
A 三セクの行動計画では、県が実施すべき事業を主たる事業とする法人に位置付けられている。林業労働力の確保の促進に関する法律に基づく県の林業労働力確保支援センターとして法定事業を実施している。	A 適切であると認められる。	B 各種助成金（技能講習、定着奨励、退職金共済、労災保険、労働安全衛生等）の助成対象の拡充が望まれる。	A 適切であると認められる。

○H27年度重点取組法人に 選定 する **しない**